

## 地方創生に向けた教育(高等教育機関の魅力向上を含む)

### 1 地方創生の実現に向けた基本的な考え方

地方創生とは、人口減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、地域の自立かつ持続的な活性化を実現していくことです。

本県では、第2期「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に定める次の4つの基本的な考え方に基づき、地方創生の実現に向けて取り組んでいます。

#### 「量」と「質」を重視

地域を支える人材を確保するという量的な視点だけでなく、それぞれの地域に暮らす一人ひとりの希望をかなえるという質を重視

#### 施策を総動員

#### 課題解決に向けた4つのアプローチ

「活力ある働く場づくり」、「未来を拓くひとづくり」、「希望がかなう少子化対策」、「魅力あふれる地域づくり」のそれぞれのアプローチからさまざまな施策を分野横断的に活用し、一体的に取り組む。

#### 未来を拓くひとづくり

若い世代が未来に向けて挑戦し、自らの可能性を広げ、地域で活躍できる三重

##### < 基本的方向 >

- 三重県で学び、成長したいという若者の希望の実現に向けて、高等教育機関の魅力向上や学びの選択肢の拡大に取り組みます。
- 高等教育機関、産業界などさまざまな主体と連携して、学びたい時にいつでも学べる環境をつくるとともに、地域から求められる能力を身につけ、地域で活躍し続けることができる人材を育成していきます。
- 子どもたちが郷土の豊かな自然や歴史、文化等について理解し、郷土への愛着や誇りを育む機会をつくっていきます。また、地域課題の解決を図る学びの場をとおして、地域の成長・発展に貢献しようとする思いを育み、三重の未来を担う人材を育成していきます。
- 一人ひとりの個性や多様性が尊重され、それぞれの能力を発揮しながら、いきいきと働き続けられる環境づくりを進めていきます。

#### 新しい技術、新しい考え方の活用

Society5.0を支えるIoT、AI等の技術や、SDGsの考え方を活用

## 2 三重に根ざした教育

- ・ 本県が自律的かつ持続的に発展していくためには、次代を担う若者の力が重要です。このため、若者の県内定着をはじめとする取組を推進し、不安を感じることなく、自分らしい生き方ができる社会を実現していくとともに、さまざまな人が三重に思いを寄せ、三重で進学・就職したい、三重で暮らしたいという希望をかなえることができる地域にしていくことが必要です。
- ・ これを実現するためには教育面でのアプローチが大変重要です。  
このため、三重の教育の基本的な方針や教育施策の主な取組内容を示した三重県教育施策大綱では、教育を取り巻く社会情勢の変化の一つに、「人口減少・少子高齢化の進展と地方創生」を掲げ、6つの基本方針の中に「三重に根ざした教育の推進」を位置づけ、小・中学校や高等学校、高等教育機関において、郷土教育や地域課題解決型キャリア教育、「三重創生ファンタジスタ」の養成などさまざまな取組を展開しています。

三重に根ざした教育の推進においては、地方創生の観点に立ち、将来世界で活躍する者にも、三重の地で生き郷土の未来を担う者にも、心の根底に生まれ育ったふるさと三重に愛着や誇りを持ち、社会や地域の成長・発展に貢献しようとする思いを育てていきます。（「三重県教育施策大綱」から抜粋）